審判上の確認事項

1. 本大会は2019年度（公財）日本バレーボール協会６人制競技規則、及び2019年度（公財）日本中体連バレーボール競技部における６人制ルールの取り扱いに則って行う。

２．試合間はすべて５分間の合同練習の後、プロトコールに入る。公式練習は３分ずつ、合同の場合は６分間とする。

３．監督およびチームキャプテンはトスの前に記録用紙にサインをする。

４．監督は、ベンチの最も記録席寄りに位置する。

５．タイムアウトを要求できるのは、監督のみである。なお、要求する場合は、ベンチから立ち上がり、コールしながら、ハンドシグナルを明確に示すこと。

６．選手交代は、クイックサブスティチュ－ションとする。(男女準決勝・決勝戦では、ナンバーパドルを使用する)

リベロプレーヤーの交代については、バックゾーンのサイドライン上で一旦静止し、双方片手を上げて速やかに交代すること。

７．プレーしていない選手はベンチに座っているか、ウォームアップエリアにいなければならない。ウォームアップエリアでのボールの使用は禁止する。

８．セット間のみ、自チームのフリーゾーンでボールを使用してもよいが、隣のコートに配慮しパス程度とすること。

９．審判への牽制、非スポーツマン的言動は、選手・チームスタッフを含め厳に慎まなければならない。質問がある場合はゲームキャプテンのみが行うこと。

10．ワイピングは、コート内の選手が、携帯しているハンドタオル等を用いて速やかに行うこと。

11．試合はワンボールシステムで行う。但し、男女決勝は５ボールシステムで行う。

12. 全試合（公財）日本中体連バレーボール競技部における「給水のためのタイムアウト（ＷＴＯ）」を採用する。

13．プロトコールについて（３セットマッチ用、６人制ルールブック参照）

①審判員によるネット、コートの点検

②記録席前でトス

③公式ウォームアップ開始、審判員による選手・チームスタッフの確認

（公式ウォームアップ中は、リベロジャケットは着用しないこと。）

④エンドライン整列（エントリー選手全員）、吹笛後ネット付近で握手

（リベロジャケットを使用する場合は整列時に着用すること。）

⑤握手の後、選手は一度ベンチに戻り、その後スターティングプレーヤーはコートに入る。

⑥サービス許可の吹笛によりゲーム開始

⑦ゲーム終了

⑧エンドライン整列（エントリー選手全員）、吹笛後ネット付近で握手、  
チームキャプテンは記録用紙にサイン、チームは速やかにベンチから退出